

# アフガニスタンの現況を語る

## ジャーナリストとアフガン女性、それぞれの視点より

氷点下のカブール。裸足に薄手のシャツ 1 枚で震える子どもたち・・・ アフガニスタンの避難民キャンプや病院を取材し、戦争被害の悲惨な現実を伝える西谷さん。

カブール出身の留学生カトールさんは、タリバンが再び勢力を強める中、女性が暴力に巻き込まれ、子ども達は学校に通えず、栄養失調、自爆テロの恐怖・・・教育の大切さを訴えます。

異なる視点からのお二人の話を聞き、私たちにいま何ができるのか、何をすべきかを一緒に考えましょう。

**日 時：2010年4月3日（土） 午後2時～4時**

**場 所：とよなか国際交流センター 会議室4 にて**

**お 話：西谷文和さん（フリージャーナリスト）**

**カトールさん（留学生・アフガニスタン出身）**

**参加費：300円 定員：30人**

### 西谷 文和 さん

吹田市役所勤務を経て、「イラクの子どもを救う会」代表。イラクへは8回入国し、劣化ウラン弾によるものと思われる被害の実体を取材している。2006年「平和協同ジャーナリスト基金賞」を受賞。2009年以降アフガニスタンを訪問し、避難民キャンプや病院などを取材してきた。

テレビ朝日「報道ステーション」、TBS テレビ「THE NEWS」などに出演し、戦争の悲惨さを伝えている。

### カトール・アルミザダ さん

箕面市在住の女性、25歳。首都カブールで生まれ、内戦や軍事行動などの影響を避けるため、父親以外の家族でパキスタンに移り高校3年生までパキスタンで暮らした。その後カブールに戻り、2004年には金蘭千里大学の奨学金を利用して栄養学を学んだ。2009年12月にカブールに帰省したが、もうしばらく日本で勉強を続け、今後の母国での活動に生かしたいと話す。

**共催：国際交流市民ネットとよなか  
（財）とよなか国際交流協会**

**連絡先：市民ネット事務局**

**国際交流の会とよなか（TIFA）内**

**電話/FAX：06-6840-1014 または**

**とよなか国際交流協会**

**電話：06-6843-4343 FAX：06-6843-4375**

